

スタディガイド

(学習指導書)

〈英語3〉

Good Reading, Better Grammar

(リーディングで深める英文法)

鹿子嶋 由佳

法政大学通信教育部

〈目次〉

テキストの誤植について.....	ii
はじめに.....	iii
テキストの特色.....	iii
学習の方法.....	iv
学習前の確認.....	v

〈解説〉

Chapter 1.....	1
Chapter 2.....	4
Chapter 3.....	6
Chapter 4.....	9
Chapter 5.....	11
Chapter 6.....	13
Chapter 7.....	16
Chapter 8.....	18
Chapter 9.....	21
Chapter 10.....	23
Chapter 11.....	26
Chapter 12.....	29
Chapter 13.....	32
Chapter 14.....	35
Chapter 15.....	37
参考文献.....	40
解答集（抜粋）.....	41

〈テキストの誤植について〉

p.68 Chapter 11, 「Reading Passage」

15 行目 【誤】 *spouse for husband / wife*

【正】 *spouse for husband / wife* (for を斜体にしない)

p.79 Chapter 12, 「VII Dialogue」

7 行目 (会話文) 【誤】 a pice of cake

【正】 a piece of cake

〈はじめに〉

「英語 3」では、文法の基礎を定着させ、語彙力を向上させながら、それらを応用できるようになることを目標としています。使用テキスト *Good Reading, Better Grammar* では、文法の知識を生かせるように様々なトピックの読解を行いながら学習していきます。英語の得手不得手や好き好きも受講生のみなさんひとりひとり異なると思いますが、焦らずにじっくりと学習を進めてください。

上述の通り、テキストでは様々なトピックが扱われており、読解や文法問題だけではなく、実践的な会話文もあります。音声を聴いたり、音読をしたりして、さらに文法と語彙の知識を深めていきましょう。そして、関心のあるトピックについて英字新聞や雑誌を読んだり、音楽を聴いたりすることで、「英語 3」で学習したことが、みなさんの日常や興味へ広がっていくことを願っています。

「スタディガイド」の作成にあたり、テキスト使用許可をいただきました株式会社成美堂の関係者各位、諸連絡から様々な手続きをご担当くださいました通信教育部学生担当の皆様、そして、テキスト選定から「スタディガイド」の校正につきまして、常に貴重なアドバイスをくださいました中和彩子先生に深く感謝申し上げます。

〈テキストの特色〉

Good Reading, Better Grammar は、15 の Chapter で構成されています。各 Chapter は、「Reading Passage」から始まり、「I Comprehension Questions」「II Guided Summary」「Focus Grammar」「III Warming Up」「IV Grammar Practice 1」「V Grammar Practice 2」「VI Grammar Practice 3」「VII Dialogue」まで、読解問題や文法問題、そしてリスニング問題が含まれています。

「Reading Passage」では、250 語前後の様々なトピックを扱った文章を読みながら、文法の知識を定着させていくことができます。そして、じっくりと確認できるように、「Focus Grammar」にて文法の項目ごとに詳しい解説があります。解説で使われる英文は「Reading Passage」内に既

出の英文ですので、文法面から内容把握していくことができます。また、リーディングだけではなく、文法選択問題や並べ替え問題が含まれていますので、自分の理解度を確かめながら学習を進められます。さらに、「VII Dialogue」には、それぞれの Chapter で扱った文法に焦点を当てたリスニングも含まれますので、音声面から復習することも可能です。

〈学習の方法〉

第一に、英和辞書を用意しましょう。そして、文法の理解の助けとなるように文法書をできる限り用意してください。文法書の選び方は、苦手な項目を調べたときに最も理解しやすく説明されているものがおすすめです。「スタディガイド」の巻末の参考文献にも挙げていますので参考にしてください。

次にテキストの進め方です。テキストの構成順に「Reading Passage」から始めていきましょう。ただし、文法項目の理解が心配な場合は「Focus Grammar」を一読し、その Chapter で扱う文法について先に学習してみてください。「VII Dialogue」はリスニング問題ですが、テキスト内に案内がある通り、音声ファイルをダウンロードまたはストリーミングで聴くことができます。学習を始める前に準備しておくことをおすすめします。

各問題に解答し、「スタディガイド」にある解答集を見ながら答え合わせを行った後には、間違えた問題や解答中に迷った問題を中心に見直してください。辞書も頻繁に引き、意味だけではなく品詞や発音、そして例文までチェックしてください。そして、「Reading Passage」、「II Guided Summary」、「VII Dialogue」を中心に音読の練習も行ってみましょう。また、テキスト p.97 (Chapter 15 「コラム」) で触れられているように、「Reading Passage」の文章を使って速読の練習をすることもできます。速読の練習をする際には Words Per Minute (以下 WPM)、つまり 1 分間に何語読めるか計測することで自分の読みの速さを客観的に知ることができます。計算方法は以下の通りです。

$$\text{WPM} = \text{全語数 (読んだ文章の語数)} \div \text{読みにかかった時間 (秒)} \times 60$$

全語数は、各 Chapter の「Reading Passage」の右下に掲載されていますので参考にしてください（例えば、Chapter 1 では 249 words とあります）。リーディングに自信がある方は、各 Chapter で「Reading Passage」を初めて読む際に計測してみてください。

文法項目や単語・語句は繰り返し触れていくことが重要です。忘れたらすぐに調べることで、学習したことを自分の知識として徐々に定着させていきましょう。

〈学習前の確認〉

品詞について

学習中には辞書を何度も引くことになりますが、意味だけではなく品詞を把握することで、より正確にその語の文中での役割について知ることができます。英語には 8 つの品詞がありますので確認してください。

- ・ 名詞（人や事物を表す語）
- ・ 代名詞（名詞の代わりに用いられる語）＊ Chapter 3, p.22 の表を参照のこと
- ・ 形容詞（名詞や代名詞の状態・性質・数量を表す語）＊ 冠詞も形容詞に含まれます
- ・ 副詞（様態・時・場所・程度・頻度を表す語、名詞以外を修飾する、句・節・文全体を修飾する）
- ・ 動詞（動作を表す語）
- ・ 前置詞（名詞や代名詞を続けて句を作る語）
- ・ 接続詞（語と語、句と句、節と節を繋げる語）
- ・ 間投詞（Oh や Ah、Hmm など、驚き、喜び、悲しみ、怒り、ためらいなどの感情を表す語）

句と節について

次に、句と節についても確認してみましょう。品詞の説明の中にも句と節が出てきましたが、テキストの解説や文法書を読む際に重要です。

- ・ 句：SV の構造を持たない 2 語以上の意味を持つ語のまとまり
（例 in the morning / to study English）
- ・ 節：SV の構造を持つ 2 語以上の意味を持つ語のまとまり

(例 I know that he is honest.)

自動詞と他動詞について

最後に、動詞の種類についてもみてみましょう。辞書を引くと、日本語の意味の前に、**自**/vi (verb intransitive) や **他**/vt (verb transitive) とあります。これはその動詞が自動詞なのか、または他動詞なのかを示しています。特徴は次の通りです。

- ・自動詞：動詞の後に目的語を必要としない動詞
- ・他動詞：動詞の後に目的語を必要とする動詞

例えば、run は自動詞と他動詞の両方で用いられますが、意味が異なります。5 文型の知識とともに、辞書を引く際に自動詞か他動詞か判断できれば、正しい意味を選ぶことができます。

文章を読む際でも文法問題を解く際でも、その文の動詞を把握したり、句や節で一旦区切ってみたりすると文の構造から理解が進みます。文法の知識を一つずつ確認しながら、慌てずに学習していきましょう。

〈解説〉

Chapter 1: Comfort Food

いつも心に栄養を！

Reading Passage

- ・ food：本文にある comfort food のように、癒しの食事のすべてを指すときには food は不可算名詞です。しかし、個々の食べ物、つまり種類を述べるときには、foods のように複数形になります。
(例：p.66, 「IV Grammar Practice 3」 1 にある語句、unique foods)
- ・ 8 行目：brings back 他動詞の bring と副詞の back が合わさっていますが、この 2 語で他動詞扱いをする句動詞（群動詞）です。よって、次に続く good memories は目的語（O）となります。
- ・ 9 行目：ones 前出の名詞の代わりをする代名詞です。前出の名詞が単数形であれば one となります。
- ・ 19 行目：It too helps cure a cold. この文にある too は文の最後に置くこともできます。(It helps cure a cold too.) ただし、主語 It の直後に置くことで、明確に「これもまた」という意味にすることができます。
help + (to) do 「～することを助ける、手伝う」 to は不定詞ですが、省略されることもあります。
- ・ 20 行目：go online 「インターネットに接続する」

I Comprehension Questions

正誤問題では根拠を持って解答することが重要です。本文を再確認しながら、「○行目に述べられているから」または「○行目には…ではなく、～とあるから」というように丁寧に進めてみましょう。

II Guided Summary

本文の内容確認として、List of Words から選んで空欄に語を入れていきましょう。解答し終えたら、音声を聴き、解答を確認してみましょう。

解答確認後には音読もしてみてください。

Focus Grammar

補足

5 文型の学習は、読解を行う際に生かせる知識となります。まず、それぞれの主要素 (S, V, O, C) にはどのような品詞が来るか確認していきます。

- ・ S: 名詞・代名詞 (名詞節・名詞句のように名詞の働きをするもの)
- ・ V: 動詞
- ・ O: 名詞・代名詞 (名詞節・名詞句のように名詞の働きをするもの)
- ・ C: 名詞・代名詞・形容詞 (名詞句・形容詞句、名詞節)

テキストの説明にあるように、副詞 (句) は主要素に入りません。そのため、第 2 文型の例文にある Food is very important. の very は副詞ですので、important のみが C と分析されることもあります。(そのため、次の第 2 文型の説明では very の下線部を点線で示しています。)

次に、第 2 文型と第 3 文型、そして第 4 文型と第 5 文型の違いを見ていきましょう。第 2 文型では C は S の説明をする役割があります。Food = important です。しかし、第 3 文型では You = some comfort food とはなりません。some comfort food は、S が必要とする (need) 対象です。つまり、O の位置には、S の動作の対象の物や人が来ますので、S を説明する役割はありません。

第 2 文型 Food is very important.
 S V C (S=C)

第 3 文型 You need some comfort food.
 S V O (S≠O)

第 4 文型と第 5 文型の違いも見てください。O は S の動作の対象ですから、「(人) に」「(物) を」となりますが、第 5 文型には C があります。第 5 文型の C は前にある O を説明します。つまり、our body=healthy となります。

第 4 文型 Mothers give their children this soup.
 S V O O (O≠O)

第 5 文型 It makes our body healthy.
 S V O C (O=C)

III Warming up

解説を参考に、理解度を確認してみましょう。(1) では文型の数字を答えるだけではなく、S, V, O, C を用いて文の分析もしてみてください。

IV Grammar Practice 1

品詞と時制に注意しながら選択してください。

V Grammar Practice 2

語の意味だけではなく、主語が単数か複数かということにも注意しましょう。6 の S (Eating fruit and vegetables everyday) の Eating は動名詞 (Chapter 7 参照) です。

VI Grammar Practice 3

並べ替え問題では本文で扱われた文も出題されますが、できる限り本文を読み返さずに解答してみましょう。また、語句はすべて小文字で始まっていますので、文頭の最初の文字を大文字にすることを忘れずに書いていきましょう。

VII Dialogue

解答後には音読を行ってください。

- ・ 3 行目：one 前出の名詞の代わりです。(以後、「VII Dialogue」での行番号は、会話文の中での行数を示します。)
- ・ 6 行目：How do you know about comfort food? 「どうして癒しの食事のことを知っているの？」

Chapter 2: The Hummingbird's Lesson

ハチドリの教訓

Reading Passage

1 行目：according to ～「～によると」

5 行目：But they did nothing to stop the fire. 不定詞が使われています。

(Chapter 8 参照)

7 行目：where she was は間接疑問です。Nobody knew. に Where is she? が組み込まれます。is は時制の一致で was になります。

10 行目：and が繋いでいるものに気を付けましょう。この文では、A, B, and C の並びで節を繋いでいます。

15-16 行目：order + O + to do

20 行目：～, no matter how small or grand, ... では grand の後に it is が省略されています。count は自動詞で、「価値がある、重要である」という意味です。count を使った表現として、It's the thought that counts. 「気持ちが一番大事である。」もよく使われます。

I Comprehension Questions

正誤問題では根拠を持って解答することが重要です。本文を再確認しながら、「○行目に述べられているから」または「○行目には…ではなく、～とあるから」というように丁寧に進めてみましょう。

II Guided Summary

本文の内容確認として、List of Words から選んで空欄に語を入れていきましょう。解答し終えたら、音声を聴き、解答を確認してみましょう。解答確認後には音読もしてみてください。

Focus Grammar

補足

現在形

「3 人称単数」とは、その文の主語を指しています。3 人称は p.22 の代名詞の表で確認できます。人の名前や単数の物や事柄も 3 人称に含まれます。(例：Amelia has three kids, and they love her.)。have の場合は haves

ではなく has になることに気を付けましょう。

過去形

動詞の不規則変化については辞書で必ず確認しましょう。練習として、次の動詞の過去形と過去分詞形を答えられるか試してみましょう。【eat / come / hit / write / bring / let / fly / think / put / take / make / set】

III Warming up

解説を参考に、理解度を確認してみましょう。スペルに気を付けてください。

IV Grammar Practice 1

4. nobody は主として代名詞として用いられ、原則として単数扱いです。

5. every は形容詞で、日本語に訳すと「すべての、どの～も」となりますが、〈every + 単数可算名詞〉で単数扱いとなります。

(some-, any-, no-, every-)+(one, body, thing) の組み合わせの語は複合不定代名詞と呼ばれます。

V Grammar Practice 2

時制と単数・複数に気を付けて解答してください。

VI Grammar Practice 3

並べ替え問題では本文で扱われた文も出題されますが、できる限り本文を読み返さずに解答してみましょう。また、語句はすべて小文字で始まっていますので、文頭の最初の文字を大文字にすることを忘れずに書いていきましょう。

VII Dialogue

解答後には音読を行ってください。

3 行目：I'm on the committee for the school festival. にある on は所属を意味します。「～の一員で、～で働いて」

Chapter 3: The Language of Colors

あなたの言葉は何色ですか？

Reading Passage

- 1 行目-2 行目: from ~ to ... 「～から…まで」
2 行目: using colors は Expressions を修飾しています。(分詞の形容詞用法)
14 行目: ~perform manual labor. 「～は肉体労働を行う」
16 行目: awareness 「意識 (高揚)」
17 行目: pride 「誇り」
18 行目: Society should do the same. 前文を受け、反復を避けるために do が使われています。「社会も同様にすべきです。」
20 行目: Most of all 「何よりも、第一に、とりわけ」

I Comprehension Questions

正誤問題では根拠を持って解答することが重要です。本文を再確認しながら、「○行目に述べられているから」または「○行目には…ではなく、～とあるから」というように丁寧に進めてみましょう。

II Guided Summary

本文の内容確認として、List of Words から選んで空欄に語を入れていきましょう。解答し終えたら、音声聴き、解答を確認してみましょう。解答確認後には音読もしてみてください。

Focus Grammar

補足

可算名詞と不可算名詞について、辞書では **C** (Countable) や **U** (Uncountable) と表記されています。普通名詞と集合名詞は可算名詞 **C**、物質名詞や抽象名詞、そして固有名詞は不可算名詞 **U** です。(集合名詞は、furniture や clothing のように不可算名詞として用いられる語もあります。) 抽象名詞は beauty, friendship, happiness, peace, success, love など抽象概念として表す名詞を指します。また、複数を表す -s や数詞を抽象名詞などの不可算名詞には直接付けられませんので、a sheet of ~ や two pieces of ~ という表現を用います (Chapter 5, 「Reading Passage」, 5 行目

参照)。

p.22 の[名詞]「4. 抽象名詞」の Colors や emotions は、ともに、例文 ex 4) において複数形 -s が付いていて (つまり可算)、「抽象名詞」(不可算) としての使用例になっていません。color は「顔色」や「様子; 特色」という意味で使う際には不可算名詞ですが、一つ一つ・様々な「色」の場合は可算名詞です。emotion も同じく、可算と不可算の使い方があります。本文では様々な感情の例が出ていますので、可算名詞扱いとなり -s が付いています。辞書を引き、文脈でどのような意味を成しているか確認することが大切です。

加えて、可算名詞に使われる a few / few と 不可算名詞に使われる a little / little についても確認しましょう。「少しはある」(a few, a little)、「ほとんどない」(few, little) という意味の違いも覚えておきましょう。

III Warming up

解説を参考に、理解度を確認してみましょう。

(1) 3. movie stars は名詞の組み合わせである複合名詞です。

IV Grammar Practice 1

選択肢の前後にどのような語があるか注意しながら解答してください。

V Grammar Practice 2

できる限り本文を読み返さずに、解答してみましょう。各語の意味に注意して選択してください。

VI Grammar Practice 3

並べ替え問題では本文で扱われた文も出題されますが、できる限り本文を読み返さずに解答してみましょう。また、語句はすべて小文字で始まっていますので、文頭の最初の文字を大文字にすることを忘れずに書いていきましょう。

VII Dialogue

解答後には音読を行ってください。

3 行目: Like what? 「どのような?」

8 行目 : I've gotta learn. の 've gotta は、have got to do 「～しなくてはならない」 の意味です。

11 行目 : what about ~? 「～はどう？」

be clear on ~ 「～についてはっきり知っている」

Chapter 4: Working Animals

動物はナマケモノ、それとも働き者？

Reading Passage

2 行目：“hired”に付いているマーク（“ ”）はダブルクォーテーションマークと呼ばれます。（‘ ’のようなシングルクォーテーションマークもあります。）人の言葉の引用や会話（台詞）、文中で注意を引きたい語句に対して用います。hire は「〈人が〉〈人〉を雇う」という意味ですので、「スイス連邦鉄道は羊を“雇っている”」となりますが、目的語が羊という特別な状況として、“hire”と書かれています。

13 行目：hearing「聴力」

14 行目：～buried by avalanches or earthquakes. 過去分詞の形容詞用法として、victims を修飾しています。

16 行目：Seeing-eye dogs「盲導犬」

the blind「目の不自由な人々」（the＋形容詞で、「～な人々」という意味になります。18 行目の the elderly と the sick も同じ使い方です。）

20 行目：as long as～「～する限り」

I Comprehension Questions

正誤問題では根拠を持って解答することが重要です。本文を再確認しながら、「○行目に述べられているから」または「○行目には…ではなく、～とあるから」というように丁寧に進めてみましょう。

II Guided Summary

本文の内容確認として、List of Words から選んで空欄に語を入れていきましょう。解答し終えたら、音声を聴き、解答を確認してみましょう。解答確認後には音読もしてみてください。

Focus Grammar

補足

接続詞と前置詞の役割を把握してください。等位接続詞については、and は特に文章中に頻出する語ですので、文の中で何を繋いでいるか明確にすると文の理解が進みます。従位接続詞では、節を導くことに注目

します。従位接続詞の後に、原則として句を置くことはできません。一方で、前置詞は様々な意味がありますので辞書で頻繁に例文も含めて調べてみましょう。in の用い方の一つとして、in + 言語「～語で」という意味を作れます。例：She read more than ten books in German. 「彼女はドイツ語で 11 冊以上の本を読んだ。」

III Warming up

解説を参考に、理解度を確認してみましょう。辞書で意味を確認しつつ解答してください。

IV Grammar Practice 1

前置詞と接続詞の違いに気を付けて選択してください。[] の後がどのような文の構造になっているか確認しましょう。

V Grammar Practice 2

できる限り本文を読み返さずに、解答してみましょう。各語の意味に注意して選択してください。

VI Grammar Practice 3

並べ替え問題では本文で扱われた文も出題されますが、できる限り本文を読み返さずに解答してみましょう。また、語句はすべて小文字で始まっていますので、文頭の最初の文字を大文字にすることを忘れずに書いていきましょう。

VII Dialogue

解答後には音読を行ってください。

3 行目：Honestly, Bob, I don't understand. 「正直に言うと、ボブ、私はわからないわ。」

4 行目：hard 「難しい」

6 行目：I get it. 「わかったわ。」

7 行目：anthro class は anthropology class を略した口語的な言い方です。
「文化人類学の授業（略して、文人の授業）」

9 行目：like 前 「(たとえば) ～のような」 (such as; for example)

Chapter 5: Learn to Listen

傾聴のすゝめ

Reading Passage

6 行目: The key to ~ 「～の鍵、秘訣」

learning to listen learning は動名詞、learn to do 「(自分の努力で) ～
するようになる、～できるようになる」

9 行目: a two-way exchange 「双方向の交流」

based on speaking and listening 過去分詞の形容詞用法

10 行目: what 関係代名詞の what (p.82 参照)

14-15 行目: some と others は people を指しています。「～な人々もいれ
ば、…な人々もいる」

18 行目: rarely 副 (弱い否定の意味)

I Comprehension Questions

正誤問題では根拠を持って解答することが重要です。本文を再確認し
ながら、「○行目に述べられているから」または「○行目には…ではなく、
～とあるから」というように丁寧に進めてみましょう。

II Guided Summary

本文の内容確認として、List of Words から選んで空欄に語を入れていき
ましょう。解答し終えたら、音声を聴き、解答を確認してみましょう。
解答確認後には音読もしてみてください。

Focus Grammar

補足

形容詞と副詞が修飾する品詞を確認しましょう。まず、形容詞は名詞
を修飾しますが、副詞は名詞以外を修飾します。また、説明にもある通
り、形容詞には①叙述用法と②限定用法があります。叙述用法の例文を
読むと、形容詞はC(補語)になっていることが分かります。辞書では形
容詞で「叙述」や「限定」と記載されていることがありますので、適切
な意味をとれるようにしていきましょう。

III Warming up

解説を参考に、理解度を確認してみましょう。

IV Grammar Practice 1

日本語の文を参考に、それぞれの形容詞と副詞が何を修飾しているか確かめながら進めてください。

V Grammar Practice 2

「Grammar Practice 1」に引き続き、何を修飾するか注意しながら選択しましょう。修飾する語の品詞も確認しましょう。

VI Grammar Practice 3

並べ替え問題では本文で扱われた文も出題されますが、できる限り本文を読み返さずに解答してみましょう。また、語句はすべて小文字で始まっていますので、文頭の最初の文字を大文字にすることを忘れずに書いていきましょう。

VII Dialogue

解答後には音読を行ってください。

1 行目：What's up? 「どうしたの？」

2 行目：That's an understatement. 「それは控えめな表現だ」=「怒っている
ところではない」

2-3 行目：have had it with ~ 「～にうんざりする」

8 行目：What's wrong with these people? 「こういう人たちはどういう問題
があるのだろう？」

15 行目：“lectures” 「演説」

Chapter 6: The Healing Power of Nature

自然に帰れ！

Reading Passage

1-2 行目: more and more of us 「ますます多くの人々」

5 行目: - (ダッシュ) 直前の語句の言い換えや具体的に説明をする際に用います。

(15 行目のダッシュは of course, not too much を挟んでいますが、文の途中で他の語句を挿入する場合の用い方です。「もちろん、長すぎることなく」というように、日なたで適度な時間を過ごすことを述べています。)

15 行目: To get enough vitamin D, ... to は不定詞「～するために」

16 行目: ought to do 「～すべきである」(義務・当然) must より弱く、should とほぼ同じ意味です。

I Comprehension Questions

正誤問題では根拠を持って解答することが重要です。本文を再確認しながら、「○行目に述べられているから」または「○行目には…ではなく、～とあるから」というように丁寧に進めてみましょう。

II Guided Summary

本文の内容確認として、List of Words から選んで空欄に語を入れていきましょう。解答し終わったら、音声を聴き、解答を確認してみましょう。解答確認後には音読もしてみてください。

Focus Grammar

補足

must

must に活用の変化はありませんので、「～しなくてはならなかった」というように過去を表現する際には have to を用います。We had to go to work yesterday. 「昨日は仕事に行かなければならなかった。」

can

can の否定形として、can not はあまり使われず、cannot または can't を用います。また、否定の場合「推量」を表すことができ、「～のはずがない」(She can't be a liar.)、一般疑問文で「いったい～だろうか」(Can the news be true?) というような「強い疑問」を表すことができます。

また、can は「許可」の意味で、「～してもよい」という意味もあります。(Can I use your textbook?)

should

must とは異なり、強制的・命令的な意味はありません。「～するべきだ」の意味の他に「～するはずだ」(見込み) を表すことができます。(They should come here by 10 o'clock. 「彼らは 10 時までここに来るはずだ。」)

may

may の過去形は might ですが、たいてい現在のことについて用います。特に、may よりも可能性が低い推量や控えめな表現の際に使用します。

III Warming up

解説を参考に、理解度を確認してみましょう。

IV Grammar Practice 1

日本語の文の意味に気を付けながら、適切な助動詞を選択しましょう。

V Grammar Practice 2

それぞれの助動詞の意味を把握できているかどうか試してください。注意事項として、*He will can swim. のように助動詞を 2 つ並べて使うことはできません。can の代わりに、「～できる」という意味の語句を用いる必要があります。(* のマークは非文であることを表します。)

VI Grammar Practice 3

並べ替え問題では本文で扱われた文も出題されますが、できる限り本文を読み返さずに解答してみましょう。また、語句はすべて小文字で始まっていますので、文頭の最初の文字を大文字にすることを忘れずに書

いていきましょう。

VII Dialogue

解答後には音読を行ってください。

1 行目：Tokyo's = Tokyo is

6 行目：a city person「都会派」

7 行目：Yes and no.「半々だね。」（都会派でもあるし、そうでないところもある）

9 行目：better still「さらに良いのは」

14 行目：Count me in!「仲間に入れて！」

Chapter 7: The Power of Love

LOVE LOVE LOVE 愛を語ろう！

Reading Passage

5-6 行目：in times of danger, sickness or trouble 「危険、病気、困難の時に」

11 行目：the best 「最良なもの」
nature 「性質」

12 行目：out of love 「愛によって」は等位接続詞で結ばれた二つの句にかかります。

19 行目：“gift of oneself” 「自分自身を捧げること」

I Comprehension Questions

正誤問題では根拠を持って解答することが重要です。本文を再確認しながら、「○行目に述べられているから」または「○行目には…ではなく、～とあるから」というように丁寧に進めてみましょう。

II Guided Summary

本文の内容確認として、List of Words から選んで空欄に語を入れていきましょう。解答し終えたら、音声を聴き、解答を確認してみましょう。解答確認後には音読もしてみてください。

Focus Grammar

補足

「動名詞の働き」③では、動詞 **enjoy** の後に動名詞 **playing** が置かれています。動名詞は「～すること」と訳しますが、次の Chapter 8 で学習する不定詞の名詞的用法 **to play** と置き換えられるかということ、そうではありません。**enjoy** のように動名詞のみを目的語にとる動詞があります。**enjoy** 以外の例は次の通りです。（動詞だけではなく、句動詞も含まれます。句動詞については p.1 を参照のこと。）

[avoid / finish / consider / miss / mind / give up / escape / suggest / deny / practice / put off / postpone]

III Warming up

解説を参考に、理解度を確認してみましょう。

IV Grammar Practice 1

文の構造も捉えながら解答してください。動名詞が文の中で S, O, C のどの要素となっているか、また、どの慣用表現が用いられているか注意しながら進めましょう。(すべてが動名詞ということではありません。)

V Grammar Practice 2

空欄の前後にどのような語句が来ているかみながら、文の構造に注意して選択してください。また、~ing の形になっている場合、「III Warming up」の問題にあったように、動名詞、現在分詞、形容詞、名詞のどれに当たるかということも考えてみましょう。

VI Grammar Practice 3

並べ替え問題では本文で扱われた文も出題されますが、できる限り本文を読み返さずに解答してみましょう。また、語句はすべて小文字で始まっていますので、文頭の最初の文字を大文字にすることを忘れずに書いていきましょう。

VII Dialogue

解答後には音読を行ってください。

9 行目：Yeh, how could I forget? 「どうしたら忘れられるか (= もちろん忘れていない)」(修辞疑問：返事を期待する疑問文ではなく、話者の考えを平叙文よりも強めて述べる文)

例 Who knows? 「誰が知っていますか? (= 誰も知りませんよ)」

14 行目：Right on 「賛成」

Chapter 8: Animal Cafés

癒しのアニマルカフェ

Reading Passage

まずは文章を一読し、その後、用いられている不定詞の用法を一つ一つ確認してください。

2 行目: where you live は関係副詞節です。The apartment building を修飾しています。(Chapter 13, p.82 参照)

20 行目: ~, who aren't animal owners, ... この who の節は関係代名詞節で、継続用法です。(Chapter 13, p.82 参照)

I Comprehension Questions

正誤問題では根拠を持って解答することが重要です。本文を再確認しながら、「○行目に述べられているから」または「○行目には…ではなく、～とあるから」というように丁寧に進めてみましょう。

II Guided Summary

本文の内容確認として、List of Words から選んで空欄に語を入れていきましょう。解答し終えたら、音声を聴き、解答を確認してみましょう。解答確認後には音読もしてみてください。

Focus Grammar

補足

不定詞の用法

名詞的用法にある例文 ex 1) と ex 2) にある不定詞はどちらも文の中で目的語の働きをしています。

ex 1) ~ the Japanese like to say.
 S V O

ex 2) The popularity of these cafés continues to grow.
 S V O

テキスト内にある英文を参考に主語、そして補語の働きをしている不定詞をみてみましょう。

To err is human, to forgive (is) divine.

S V C S V C

(p.53, 「III Warming up」 (2)-3 の問題より)

(forgive と divine の間には is が省略されていますのでカッコを付けて追加しました。) この文で不定詞は S となっています。「間違えることは人間的で許すことは神的である。[諺：過ちは人の常、許すは神のわざ / Alexander Pope (1688-1744, 英国の詩人) 著 *An Essay on Criticism* (『批評論』 (1711) より)]」

続いて補語の例をみてみましょう。(Chapter 6, 「II Guided Summary」 より)

The best way to feel the healing power of nature is to go to a Japanese onsen.

S V C

「自然の治癒力を感じる最善の方法は日本の温泉に行くことだ。」というように S=C の関係であることも分かります。

形容詞用法については、ex 3) と ex 4) 以外の例もみてみましょう。

The first animal café to open in Japan featured cats ...

(Chapter 8, 「Reading Passage」, 9 行目)

to open in Japan は形容詞用法ですので The first animal café を修飾しています。ここで応用編ですが、この形容詞用法は「実際に起こったこと」を表しています。「日本で最初にオープンしたアニマルカフェは…」となり、「オープンする」ではないことに注意しましょう。不定詞の形容詞用法が修飾する名詞に first のような序数や last, only, または最上級の形容詞が付いている場合 (同時に、その名詞がその文の主語であり、その文が過去の事柄を述べたものであれば)、この用法があてはまります。

そして、副詞的用法について、形容詞的用法と区別して理解していきましょう。不定詞の左側に名詞句があると形容詞的用法であると思いが

ちですが、意味をしっかりと捉えていくことが重要です。

最後に、不定詞のみを目的語にとる動詞を確認しましょう。例は次の通りです。

[agree / ask / decide / expect / fail / hope / learn / pretend / promise / manage / refuse / wish]

III Warming up

解説を参考に、理解度を確認してみましょう。

IV Grammar Practice 1

頻出表現や文の構造に注意しながら解答してください。

V Grammar Practice 2

「Grammar Practice 1」に続き、文の構造と修飾に気を付けて解答しましょう。

VI Grammar Practice 3

並べ替え問題では本文で扱われた文も出題されますが、できる限り本文を読み返さずに解答してみましょう。また、語句はすべて小文字で始まっていますので、文頭の最初の文字を大文字にすることを忘れずに書いていきましょう。

VII Dialogue

解答後には音読を行ってください。

1 行目：kind of 「ちょっと、多少、いくらか」 a kind of とは異なり a がないことに注意しましょう。

10 行目：as the old saying goes 「古くから諺で言うように」

14 行目：We're on. 「賛成だ」

Chapter 9: Stand Up for Your Health!

健康のために立ち上がれ！

Reading Passage

本文には should が多く使われていますので、should の意味も復習しながら読み進めてください。また、14 行目以降は命令文が続きます。[命令文~, and ...] で「～しなさい、そうすれば…」という意味になりますので参考にしてください。

21 行目：and で 2 つの命令文が繋がられています。

I Comprehension Questions

正誤問題では根拠を持って解答することが重要です。本文を再確認しながら、「○行目に述べられているから」または「○行目には…ではなく、～とあるから」というように丁寧に進めてみましょう。

II Guided Summary

本文の内容確認として、List of Words から選んで空欄に語を入れていきましょう。解答し終えたら、音声を聴き、解答を確認してみましょう。解答確認後には音読もしてみてください。

Focus Grammar

補足

比較級と最上級の表現の他、原級を用いた比較構文もあります。

Feeling happy is as important as being healthy.

[A ... as + 原級 (形容詞か副詞) + as B] 「A は B と同じくらい～」

Eating less is not as difficult as [so difficult as] you might think.

[A ... not as[so] + 原級 (形容詞か副詞) + as B]

「A は B ほど～ではない」

例文を音読して比較級、最上級の表現に慣れていきましょう。

III Warming up

解説を参考に、理解度を確認してみましょう。(2) ではスペルに気を付けてください。

IV Grammar Practice 1

日本語の文に合うように、選択していきましょう。2 では、water が可算名詞か不可算名詞か、注意してください。

V Grammar Practice 2

2 では、“~, the -----.” とありますが、空欄の後に “you are” または “you will be” が省略されています。また、3 では、選択肢の意味に気を付けてください。hardly は、Chapter 5 の「Reading Passage」で用いられた rarely と同種です。

VI Grammar Practice 3

並べ替え問題では本文で扱われた文も出題されますが、できる限り本文を読み返さずに解答してみましょう。また、語句はすべて小文字で始まっていますので、文頭の最初の文字を大文字にすることを忘れずに書いていきましょう。

VII Dialogue

解答後には音読を行ってください。

1-2 行目：My back and neck are killing me. (be killing O「O を（痛み・疲労・魅力・失望・笑い等で）参らせてしまう、圧倒する」) つまり、「背中と首が痛くてたまらない。」という意味です。

10 行目：My friend back home「私の故郷の友人」

Chapter 10: Las Vegas: Fantasy World in the Desert

ラスベガスに行かずして、結構とスベカラズ

Reading Passage

8-9 行目: one of + 限定複数名詞「～の 1 つ」

least は little の最上級で humid を修飾しています。

12 行目: fine dining 「素敵な食事」

18 行目: Tut = Tutankhamen

～are not to be missed. 〈be + to 不定詞〉の用法で、「義務」(=should)を表します。

ここでは、not があり、そして be missed と受動態にもなっていますので訳し方に注意しましょう。

I Comprehension Questions

正誤問題では根拠を持って解答することが重要です。本文を再確認しながら、「○行目に述べられているから」または「○行目には…ではなく、～とあるから」というように丁寧に進めてみましょう。

II Guided Summary

本文の内容確認として、List of Words から選んで空欄に語を入れていきましょう。解答し終わったら、音声を聴き、解答を確認してみましょう。解答確認後には音読もしてみてください。

Focus Grammar

補足

分詞には形容詞用法もありますので、次の例文をみてみましょう。

Expressions using colors are frequently used in daily speech.

(Chapter 3, 「Reading Passage」, 2 行目)

Communication is a two-way exchange based on speaking and listening.

(Chapter 5, 「Reading Passage」, 9 行目)

分詞とその他の語のまとまりが前にある名詞を修飾しています。現在分詞は「～している…」、過去分詞は「～された（した）…」と訳します。また、分詞 1 語の場合は名詞を前から修飾します。

I know that singing girl over there. 「歌っている少女」

Fallen leaves are beautiful in fall. 「落ちた葉（＝落ち葉）」

分詞構文は、「主文全体を修飾する副詞句を作る構文」とあるように、情報の追加の役割があります。もともと副詞節で表されていた部分を分詞構文にすることで文を簡素にすることができます。ex 7) の例文を使って副詞節から分詞構文への変化をみてみましょう。

ex 7) **Located** in the Mojave Desert and **surrounded** by mountains, Las Vegas is one of the sunniest and least humid cities in the USA.

↑

Being **located** in the Mojave Desert and **surrounded** by mountains, Las Vegas is one of the sunniest and least humid cities in the USA.

↑

As Las Vegas is **located** in the Mojave Desert and **surrounded** by mountains, Las Vegas is one of the sunniest and least humid cities in the USA.

As は接続詞で「～なので」という意味で、下線部は副詞節になっています。主語は主節と同じく Las Vegas ですので、接続詞とともに文から取ります。そして、is **located** in the Mojave Desert and **surrounded** by mountains, が残りますので、is を現在分詞の Being にしますが、be 動詞の分詞は省略が可能ですので、ex 7) の文が出来上がります。分詞構文ではもともとあった接続詞がありません。文脈から読み取る必要がありますので注意していきましょう。

加えて、ex 6) は文中に挿入され、補足説明を行う分詞構文です。たいい分詞構文は文頭や文尾に置かれますが、主語の説明をする際にはコンマ (,) で分詞の句を挟み、情報を加えます。ex 8) は完了形になってい

ますが、完了形の have に -ing を付けることで分詞構文を作ることが可能です。

III Warming up

解説を参考に、理解度を確認してみましょう。

IV Grammar Practice 1

慣用表現を含めて、分詞を含んだ英文に慣れていきましょう。

V Grammar Practice 2

2 は Chapter 12 で扱う完了形についての問題です。“Before visiting Tokyo” という過去の一定時の基準（ある時）が示されていることに注意してください。

VI Grammar Practice 3

並べ替え問題では本文で扱われた文も出題されますが、できる限り本文を読み返さずに解答してみましょう。また、語句はすべて小文字で始まっていますので、文頭の最初の文字を大文字にすることを忘れずに書いていきましょう。

VII Dialogue

解答後には音読を行ってください。

4 行目：impersonator「扮装する人（＝そっくりさん）」

15 行目：Vegas sounds cool. 第何文型でしょうか？ sound が自動詞であることに注意しましょう。

「ベガスはすてきなようね。」

Chapter 11: Changing Times, Changing Words

時の流れは絶えずして、しかも同じ言葉にあらず

Reading Passage

先に学習した従位接続詞や不定詞が含まれています。復習しながら読み進めてください。

5 行目: some と others で対比を表します。

8 行目: “changing times, changing words.” 「時代が変わり、言葉が変わる」

23 行目: So, as you can see, ... 「ですから、ご覧のように」

I Comprehension Questions

正誤問題では根拠を持って解答することが重要です。本文を再確認しながら、「○行目に述べられているから」または「○行目には…ではなく、～とあるから」というように丁寧に進めてみましょう。

II Guided Summary

本文の内容確認として、List of Words から選んで空欄に語を入れていきましょう。解答し終えたら、音声聴き、解答を確認してみましょう。解答確認後には音読もしてみてください。

Focus Grammar

補足

現在進行形は「現在進行中の動作」を表すほかに、「絶えず繰り返されている動作」や「近い未来の予定」を表すことができます。

He is always complaining about his job. (いつも不満を言っている)

I am leaving for the UK tonight. (今晚イギリスへ出発する)

…発着、往来、または計画を表すことを表す動詞に多い

未来形（未来を表す表現）については、will と be going to の違いをみてみましょう。will は「単純未来」のほかに「意志未来」、つまり主語の意志を表す際にも用いられます。

I will text you by 5 o'clock. 「～する / するつもりだ」(その場で決めた)
I'm going to visit my grandmother. 「～するつもりだ」
(すでに前から準備をしている)

また、ex 8) のように、be going to が「～だろう」という「推量」を表すこともあります。話し手が確実にそうなるだろうと判断したときに用いられます。「Reading Passage」から分かるように、辞書には新たな語が年々増えていっていますので、その点から be going to が使われている文だということがわかります。

III Warming up

解説を参考に、理解度を確認してみましょう。

(2) 1 では、進行形にすることで「～しつつある」というニュアンスになります。

IV Grammar Practice 1

主語の単複に注意しながら選択してください。

V Grammar Practice 2

文の構造を把握しながら解答しましょう。「Grammar Practice 1」に引き続き、主語、そして動詞の句にも着目していきましょう。

VI Grammar Practice 3

並べ替え問題では本文で扱われた文も出題されますが、できる限り本文を読み返さずに解答してみましょう。また、語句はすべて小文字で始まっていますので、文頭の最初の文字を大文字にすることを忘れずに書いていきましょう。

VII Dialogue

解答後には音読を行ってください。

1 行目: be fed up with ~ 「～に飽き飽きしている (する)」

2 行目: Like who ~ 「どのような人が」

3-4 行目: ~ no walk in the park. 「公園を歩くことではない (= 公園を歩くようなたやすいことではない)」

9 行目：nothing like～「～にほど遠い、～どころではない」

10 行目：get real「冗談はやめなさい、現実を見なさい」

11 行目：quite a few～「かなり多数の～」

Chapter 12: The Lady with the Blue Tatoo

青い刺青の女

Reading Passage

5 行目: thousands of ~ 「何千という～」

8 行目: make + O + 原形不定詞 (to なし不定詞) 「O に～させる」

11 行目: want + O + to do 「O に～してもらいたい」

I Comprehension Questions

正誤問題では根拠を持って解答することが重要です。本文を再確認しながら、「○行目に述べられているから」または「○行目には…ではなく、～とあるから」というように丁寧に進めてみましょう。

II Guided Summary

本文の内容確認として、List of Words から選んで空欄に語を入れていきましょう。解答し終わったら、音声を聴き、解答を確認してみましょう。解答確認後には音読もしてみてください。

Focus Grammar

補足

現在完了形: 過去に始まった(あった)動作・出来事が現在にも影響を及ぼしていることを表します。和訳をすると過去形との違いがわかりにくいという場合は、次の時間の流れを参考にしてください。

lost my wallet



have lost my wallet

過去

現在

例) 過去形: I lost my wallet. (過去のある一点のみに焦点を当てる)

現在完了形: I have lost my wallet. (財布をなくし、その状態が今も続いている) *継続

過去完了：過去のある時とさらに過去の間のことを述べる時に使う。



When I arrived at the station, the train had already left. *完了・結果

現在完了形では、各意味によって伴う副詞に特徴があります。

①完了・②結果：just, now, already, (疑問文・否定文で) yet など

③経験：before, ever, never, once, twice, ~ times (three times, four times ...) など

④継続：always, for~, since~, How long ~?

yesterday や ~ago、そして When~? のように、過去の一点を表す、または問うような語句は、現在完了形とともに用いることはできません。

III Warming up

解説を参考に、理解度を確認してみましょう。

(2) については形を変える練習です。〔「Focus Grammar」の説明の通り、過去完了は過去のある時までの動作の完了、結果、経験、状態の継続を表します。問題2と3では、形を変えた後に、過去のある時を示す表現が過去完了の文中や文脈に必要です。問いでは求められていませんが、2では before she came to Hokkaido last year、3では before that time などをつめて考えてみましょう。〔過去のある時とさらに過去の間〕について述べる過去完了への理解が深まります。〕

IV Grammar Practice 1

現在完了形と過去完了形の違いに注意しながら解答してください。

V Grammar Practice 2

「Grammar Practice 1」に引き続き、完了形を正しく理解できているか確認しましょう。1では主語に No が付いていることに気を付けましょう。

VI Grammar Practice 3

並べ替え問題では本文で扱われた文も出題されますが、できる限り本文を読み返さずに解答してみましょう。また、語句はすべて小文字で始まっていますので、文頭の最初の文字を大文字にすることを忘れずに書いていきましょう。

VII Dialogue

解答後には音読を行ってください。

1 行目：be into ~ 「～に夢中だ」

10 行目：~ what an adventure! 「何て冒険なんだろう！」（感嘆文）

14 行目：must have + 過去分詞 「～したに違いない」

〈助動詞 + have + 過去分詞〉は、現在から過去のことを推量する表現、または過去において行われなかった行為を述べる際に用いられます。

[例] may have + 過去分詞 「～だったかもしれない」、should have + 過去分詞 「～すべきであったのに（実際は行わなかった）」

Chapter 13: The Refugee Crisis in Europe

欧州の難民危機

Reading Passage

関係詞の直前にはたいてい先行詞があります。一読した後、先行詞を突き止めながら再度読んでみましょう。

2 行目: hundreds of thousands of ~ 「何十万もの~」

8 行目: ~ with whom they ... (間接疑問文) 「誰と…したか」

10-11 行目: ~ who is going to ... (間接疑問文) 「誰が…するつもりか」

I Comprehension Questions

正誤問題では根拠を持って解答することが重要です。本文を再確認しながら、「○行目に述べられているから」または「○行目には…ではなく、~とあるから」というように丁寧に進めてみましょう。

II Guided Summary

本文の内容確認として、List of Words から選んで空欄に語を入れていきましょう。解答し終えたら、音声を聴き、解答を確認してみましょう。解答確認後には音読もしてみてください。

Focus Grammar

補足

関係詞は2つの文を繋げ、1つの文にすることができます。関係代名詞を例に文の成り立ちを確認しましょう。

a) I have a friend.

b) Her mother is an astronaut.

a) と b) の文の中に共通している情報を見つけます。ここでは a friend と Her が同じ人物を指していますので、共通している情報とみなします。1つの文にするには、代名詞の代わりに関係代名詞を置きますので、Her の代わりとなる適切な関係代名詞を選びます。a) の文にある friend は先行詞と呼ばれ、たいていの場合、関係代名詞の前に置かれます。

関係代名詞について、次の表で整理しましょう。

先行詞 / 文中での役割	主格 (S)「～は」	所有格「～の」	目的格 (O)「～に・を」(省略可)
人	who	whose	whom
物・事	which	whose	which
人 / 物・事	that	—	that

Her は「彼女の」という意味の所有格の代名詞であり、先行詞は friend、つまり「人」ですので、関係代名詞は whose を選びます。これらを繋げると、次の文が完成します。

I have a friend whose mother is an astronaut.

テキストの解説にあるように、関係代名詞 that は先行詞が人の時も物の時にも使われますが、that の使用の方が好まれる時もあります。

- ・先行詞に最上級の形容詞が付いている場合
- ・先行詞に the first, the second などの序数や the last, the only, the same が付いている場合
- ・先行詞に all, every, any, no が付いている場合

また、継続用法は限定用法と異なり、情報の追加の役割があります。and, but, because, for, though などの接続詞を用いて書き換えることができます。ex 5) の例でみてみましょう。

Will they obey the laws, which may be different from the ones in their homeland?
= though they～「それらは～けれども」

英文読解をする際には関係詞節の先行詞を探し、修飾関係に注意しましょう。また、様々な英語の試験における文法の穴埋め問題に解答する際には、空欄（選択肢）の前後がどのような構造になっているか確認してください。

III Warming up

解説を参考に、理解度を確認してみましょう。

IV Grammar Practice 1

文の構造に気を付けながら選択してください。

V Grammar Practice 2

空欄の前後にどのような文の主要素が来ているか、そして、何の品詞の語が並んでいるか確認しながら選択しましょう。

VI Grammar Practice 3

並べ替え問題では本文で扱われた文も出題されますが、できる限り本文を読み返さずに解答してみましょう。また、語句はすべて小文字で始まっていますので、文頭の最初の文字を大文字にすることを忘れずに書いていきましょう。

VII Dialogue

解答後には音読を行ってください。

10 行目：that 副 否定文で「あまり（～でない）」

Chapter 14: Natsume Soseki is “Reborn”

吾輩は漱石ロボットである

Reading Passage

6 行目：~, which is considered ... 関係代名詞の継続用法

10 行目：~ to celebrate ... 不定詞

11 行目：as well as ~ 「~と同様に、~のみならず、~だけでなく、~はもちろん」

12 行目：renowned 形 「有名な、高名な」

15 行目：including ~ 前 「~を含めて」

16 行目：program ~ to do 「~が…するように計画する（プログラムする）」

22 行目：both A and B 「A と B の両方」

I Comprehension Questions

正誤問題では根拠を持って解答することが重要です。本文を再確認しながら、「○行目に述べられているから」または「○行目には…ではなく、~とあるから」というように丁寧に進めてみましょう。

II Guided Summary

本文の内容確認として、List of Words から選んで空欄に語を入れていきましょう。解答し終えたら、音声を聴き、解答を確認してみましょう。解答確認後には音読もしてみてください。

Focus Grammar

補足

「態」とは、動作と主語の関係を示す動詞（動詞句）の形のことです。能動態（動作・行為を行う人やものが主語）と受動態（動作・行為を受ける人やものが主語）があります。テキストの解説を読みながら、文の要素の並び方の違いに注意していきましょう。

III Warming up

解説を参考に、理解度を確認してみましょう。

IV Grammar Practice 1

態と時制に気を付けながら解答してください。

V Grammar Practice 2

be 動詞の形も問われている際には、主語の単複を確認しましょう。

VI Grammar Practice 3

並べ替え問題では本文で扱われた文も出題されますが、できる限り本文を読み返さずに解答してみましょう。また、語句はすべて小文字で始まっていますので、文頭の最初の文字を大文字にすることを忘れずに書いていきましょう。

VII Dialogue

解答後には音読を行ってください。

4 行目：in honor of～「～に敬意を表して」

Chapter 15: The Power of Reading

英語上達へのアドバイス

Reading Passage

これまで学習してきた文法事項の知識を生かしながら読んでみましょう。(p.92 に掲載されている写真の人物は、テキストの主著者 Joan McConnell 先生です。)

13-14 行目: the 比較級, the 比較級 (p.58 参照)

20 行目: ~ the language people use in real-life situations. 関係代名詞が省略されています (the language と people の間)

21 行目: post on ~ 「~の投稿メッセージ」(ここでは名詞ですが、動詞としても「~を投稿する、掲載する」という意味で用いることができます)

I Comprehension Questions

正誤問題では根拠を持って解答することが重要です。本文を再確認しながら、「○行目に述べられているから」または「○行目には…ではなく、~とあるから」というように丁寧に進めてみましょう。

II Guided Summary

本文の内容確認として、List of Words から選んで空欄に語を入れていきましょう。解答し終えたら、音声を聴き、解答を確認してみましょう。解答確認後には音読もしてみてください。

Focus Grammar

補足

仮定法過去と仮定法過去完了の用法で使われる動詞について整理しましょう。

[仮定法過去の動詞]

従属節	主節
{ 過去形 } { were }	{ would, should } + 動詞の原形 { could, might }

〔仮定法過去完了の動詞〕

従属節

{had + 過去分詞}

主節

{would, should}
{could, might} + have + 過去分詞

また、仮定法現在についても補足します。テキストの解説の通り、If I am a fool, you are another. や If she comes tomorrow, I will show her this book. のような文は、今日では直説法現在時制を用います。(つまり、動詞の原形を用いた、If I be a fool や If she come tomorrow にはしません。) 仮定法とは異なり、直説法とは事実をそのまま述べたり尋ねたりする際に用いられる動詞の用法を指します。

一方で、仮定法現在、現在または未来に関する不確実な想像を表します。例文は次の通りです。

I proposed that the prize be given to him.

I demanded that he go in my place.

(両例文とも『基礎からの新総合英語』, p.440 より)

主節の動詞が提案、要求、判断を表す時に **that** 節内で「動詞の原形」を用います。(that 節内で述べられていることは完了していない事柄のため、不確実なものとされます。)

III Warming up

解説を参考に、理解度を確認してみましょう。

IV Grammar Practice 1

従属節と主節の動詞に気を付けて解答してください。

V Grammar Practice 2

「Grammar Practice 1」に引き続き、従属節と主節の動詞に気を付けて解答してください。

追加情報として、TOEIC® では次のような If を省略した文も出題されます。p.95, 「III Warming up」の7の文を用いて例示します。

Were I a very rich person, I would travel around the world.

Ifが省略されると、倒置が起こり、I were ではなく Were I となります。他の例として、If I had been ~であれば、Had I been ~となりますし、If it should snow ~であれば、Should it snow ~となります。

VI Grammar Practice 3

並べ替え問題では本文で扱われた文も出題されますが、できる限り本文を読み返さずに解答してみましょう。また、語句はすべて小文字で始まっていますので、文頭の最初の文字を大文字にすることを忘れずに書いていきましょう。

VII Dialogue

解答後には音読を行ってください。

11 行目：I mean 「つまり」

~, look at... (命令文)

14 行目：~ why not? 「無論、もちろん」

19-20 行目：Silence can be beautiful. 「沈黙は美でありうる」

〈参考文献〉

〔使用テキスト〕

McConnell, J., 山内圭. 『Good Reading, Better Grammar リーディングで深める英文法』. 成美堂, 2018.

〔一般辞書〕

Oxford Advanced Learner's Dictionary. 9th ed. Oxford UP, 2015

Oxford Dictionary of English. 2nd ed. Oxford UP, 2005.

『ジーニアス英和大辞典』. 大修館, 2001.

『リーダーズ英和大辞典』. 第3版. 研究社, 2012.

『リーダーズ・プラス』. 研究社, 1994

〔文法書〕

Greenbaum, S. *An Introduction to English Grammar*. Longman, 1991.

Quirk, R., Greenbaum, S., Leech, G. and Svartvik, J. *A Comprehensive Grammar of the English Language*. Longman, 1985.

石黒昭博 (監修). 『総合英語 フォレスト』. 第6版. 桐原書店, 2009.

久保野雅史 (監修). 『理解しやすい英文法』. 新訂版. 文英堂, 2013.

高橋潔, 根岸雅史. 『チャート式シリーズ 基礎からの新総合英語』. 三訂版. 数研出版, 1994.

綿貫陽, マーク・ピーターセン. 『表現のための実践ロイヤル英文法』. 旺文社, 2011.

綿貫陽 (他). 『ロイヤル英文法』改訂新版. 旺文社, 2000.

〈解答集〉 (抜粋)

Chapter 1

I Comprehension Questions

1. F 2. T 3. T

III Warming up

(1) 1. (5) 2. (3) 3. (2) 4. (1)

(2) 1. O 2. C / C 3. O

IV Grammar Practice 1

1. changes 2. avoid 3. feeling 4. made 5. feel

V Grammar Practice 2

1. A 2. B 3. A 4. C 5. D 6. C

VI Grammar Practice 3

1. Good food makes our body and our brain healthy.

2. These photos bring back good memories, especially the wonderful ones with my family.

3. Japanese comfort food is lower in calories and therefore less fattening than American comfort food.

VII Dialogue

Do you know / I'm homesick / We discussed it

Chapter 2

I Comprehension Questions

1. T 2. F 3. T

III Warming up

(1) 1. 過去 2. 現在 3. 過去 4. 現在 / 現在

(2) 1. lives 2. loved 3. counted 4. taught 5. run

IV Grammar Practice 1

1. lived 2. were 3. worried 4. knows 5. helps

V Grammar Practice 2

1. A 2. B 3. D 4. A 5. C 6. A

VI Grammar Practice 3

1. They did nothing to stop the fire.
2. He ordered all the animals to follow Ms. Hummingbird's example.
3. After many hours of hard work, they saved their home.

VII Dialogue

What's the problem / some members do nothing / Did you read the story

Chapter 3

I Comprehension Questions

1. T 2. F 3. T

III Warming up

- (1) 1. Expressions / colors / speech 2. elephant / item
3. carpet / welcome / movie stars / people
- (2) 1. spectra (spectrums) 2. worker 3. lives

IV Grammar Practice 1

1. people 2. examples 3. instance 4. a 5. they

V Grammar Practice 2

1. B 2. C 3. C 4. B 5. D 6. C

VI Grammar Practice 3

1. For instance, a white flag is a sign for surrender.
2. Red states in the US vote for Republicans, while blue states choose Democrats.
3. In the US, a yellow ribbon symbolizes support for the military.

VII Dialogue

English class was really awesome / sound like a native speaker / it has different colors

Chapter 4

I Comprehension Questions

1. T 2. F 3. T

III Warming up

(1) 1. 前置詞 2. 接統詞 3. 前置詞 4. 接統詞

(2) 1. If you take a train in Switzerland, you will probably see flocks of sheep in the lovely meadows.

2. Cattle pull heavy loads, but, in some areas of the world, they help plough the fields.

3. Because their hearing is so good, they can locate victims buried by avalanches or earthquakes.

IV Grammar Practice 1

1. yet 2. on 3. Of 4. When 5. Although

V Grammar Practice 2

1. B 2. A 3. D 4. A 5. C 6. C

VI Grammar Practice 3

1. The sheep get along with each other, cost less than humans, and are environmentally friendly.

2. Some police officers patrol city streets on horseback, so traffic is smooth.

3. Dogs are often called “man’s best friend,” but for people with disabilities, this is particularly true.

VII Dialogue

trained to live with humans / So that’s why / But many people don’t get it

Chapter 5

I Comprehension Questions

1. F 2. F 3. T

III Warming up

(1) 1. 形容詞 2. 形容詞 3. 副詞 4. 副詞

(2) 1. He made crabby individuals smile and timid ones speak.

2. Are you feeling sad or lonely?

3. It always has the same positive effect.

IV Grammar Practice 1

1. many 2. successful 3. wise 4. two-way 5. Finally

V Grammar Practice 2

1. B 2. D 3. A 4. D 5. A 6. C

VI Grammar Practice 3

1. His cold smile and aggressive manner made everybody nervous.

2. My father's excellent advice helped me become a good communicator.

3. Unfortunately there were so many communication breakdowns between the teachers and the students.

VII Dialogue

You look ticked off / they're not interested in / They're selfish / and boring

Chapter 6

I Comprehension Questions

1. T 2. F 3. T

III Warming up

(1) 1. can 2. should 3. could 4. should 5. must

(2) 1. We can spend a week in the countryside.

2. We should listen to the birds.

3. We must go to a peaceful mountain.

4. We could go to a Japanese *onsen*.

IV Grammar Practice 1

1. could 2. could 3. should 4. must 5. must

V Grammar Practice 2

1.A 2.C 3.D 4.C 5.C 6.B

VI Grammar Practice 3

1. Urban life can be exciting because there are so many things to do.

2. You can live in the country to forget the hectic rhythm of your daily life.

3. The fresh air of the forest can help purify our lungs.

VII Dialogue

could go to a park / should be on everybody's / can't wait to go

Chapter 7

I Comprehension Questions

1. T 2. F 3. T

III Warming up

(1) 1. ① 2. ① / ④ 3. ② / ① 4. ③ / ③

(2) 1. ① 2. ④ 3. ② 4. ③

IV Grammar Practice 1

1. serving 2. helping 3. created 4. denying 5. loving

V Grammar Practice 2

1. B 2. A 3. A 4. C 5. B 6. D

VI Grammar Practice 3

1. I am not referring just to the physical act of making love.

2. Loving means opening your heart and your mind to others.
3. Loving your children is the most precious gift you can give them.

VII Dialogue

different ways of defining love / helping us understand / That song almost makes me cry

Chapter 8

I Comprehension Questions

1. T 2. F 3. F

III Warming up

- (1) 1. ② 2. ③ 3. ①

- (2) 1. ① / ① 2. ③ / ③ 3. ②

IV Grammar Practice 1

1. to watch 2. relaxing 3. opened 4. to appeal 5. to take

V Grammar Practice 2

1. C 2. D 3. A 4. C 5. A 6. B

VI Grammar Practice 3

1. After all, to have a pet takes time, money and patience.
2. On a peaceful mountain, you will be able to spend quality time.
3. To use the power of love is the best way to solve this problem.

VII Dialogue

always happy to see me / I'd love to have a dog / Do you want to come with me

Chapter 9

I Comprehension Questions

1. T 2. T 3. T

III Warming up

- (1) 1. healthy (原級) / more important (比較級) / wealthy (原級)
2. less (比較級) / red (原級) / more (比較級)
3. the easiest (最上級)
(2) 1. better / the best 2. more / healthier 3. wiser

IV Grammar Practice 1

1. better-balanced 2. as much water as 3. best 4. favorite
5. more and more

V Grammar Practice 2

1. C 2. B 3. D 4. B 5. C 6. B

VI Grammar Practice 3

1. An old saying reminds us that health is better than wealth.
2. The less red meat you eat, the healthier you become.
3. More and more people work out in the gym.

VII Dialogue

You'd feel better / even think clearer / the easiest solution for you

Chapter 10

I Comprehension Questions

1. F 2. T 3. T

III Warming up

- (1) 1. ② 2. ② 3. ① / ② / ② 4. ①
(2) 1. ① 2. ② 3. ① 4. ③ / ②

IV Grammar Practice 1

1. speaking 2. Surrounded 3. Having visited 4. coming 5. Talking of

V Grammar Practice 2

1. C 2. A 3. B 4. C 5. A 6. B

VI Grammar Practice 3

1. Having visited four continents, she has tried a lot of unique foods.
2. Once upon a time, the northern part of Okayama Prefecture was covered by the ocean.
3. Strictly speaking, a “blackboard” is not a black board.

VII Dialogue

got married there / Being an / You really should go there

Chapter 11

I Comprehension Questions

1. T 2. F 3. T

III Warming up

- (1) 1. 進行形 2. 進行形 3. 動名詞
(2) 1. is changing / are disappearing / are getting 2. are looking
3. is describing / are not identifying

IV Grammar Practice1

1. been 2. are 3. being 4. are going 5. used

V Grammar Practice2

1. A 2. B 3. C 4. C 5. A 6. C

VI Grammar Practice3

1. Throughout history, new words and new meanings are always being created.
2. Many English learners are using electronic dictionaries instead of traditional ones.
3. In a famous song, Bob Dylan warns that the times are changing.

VII Dialogue

Give me a break / Your Japanese is coming along / a piece of cake

Chapter 12

I Comprehension Questions

1. F 2. F 3. T

III Warming up

(1) 1. 過去 / 過去完了 2. 現在完了 3. 現在 4. 過去

(2) 1. She has watched a lot of old films.

2. The student from Okinawa had not seen snow.

3. I had gone[been] to Canada twice.

4. Olive has lived happily with the Mohave tribe.

IV Grammar Practice 1

1. has lived 2. had lived 3. got married 4. had lived 5. have you lived

V Grammar Practice 2

1. C 2. A 3. D 4. B 5. B 6. C

VI Grammar Practice 3

1. Oatman, Arizona was named after Olive Oatman, who had lived with the Native Americans.

2. Olive was nicknamed “The Lady with the Blue Tattoo” because she had had a blue tattoo.

3. As you have studied with this textbook, your English must have improved.

VII Dialogue

That’s an understatement / you’ve got a point / must have been awesome

Chapter 13

I Comprehension Questions

1. T 2. F 3. F

III Warming up

(1) 1. × 2. × 3. ○ / ○

- (2) 1. ○ 2. ○ (または that) 3. who

IV Grammar Practice1

1. who 2. that 3. that 4. what 5. which

V Grammar Practice2

1. C 2. B 3. A 4. D 5. C 6. A

VI Grammar Practice3

1. The safest place where they could stay was the baseball stadium.

(＊災害発生後、野球場などのスポーツ競技場は避難所として利用されることがしばしばあります。)

2. It's imperative to know what the applicants did in their high-school days.
3. The mayor sent a letter of thanks to the citizens who pay high taxes.

VII Dialogue

who have left the Middle East / where these refugees can go / learn to get along

Chapter 14

I. Comprehension Questions

1. T 2. F 3. T

III Warming up

- (1) 1. ① 2. ② 3. ① 4. ②
(2) 1. ② 2. ① 3. ② 4. ①

IV Grammar Practice 1

1. was reborn 2. brought 3. is considered 4. are required 5. be analyzed

V Grammar Practice 2

1. C 2. D 3. B 4. A 5. A 6. C

VI Grammar Practice 3

1. The students majoring in literature are required to read the works of Shakespeare.
2. The first telephone was created by Alexander Graham Bell in 1876.
3. The students will be lectured to by the Soseki robot in some classes.
(* The students will be lectured to in some classes by the Soseki robot. もしくは、In some classes the students will be lectured to by the Soseki robot. も可。)
(* lecture には「講義する」と「説教する」の意味がありますが、「講義する」という意味の場合には「lecture to ～ (人)」と前置詞 to とともに用いるのが通常です。)

VII Dialogue

are required to read / when was this robot created / has been

Chapter 15

I Comprehension Questions

1. T 2. T 3. F

III Warming up

- (1) 1. ① 2. ③ 3. ② 4. ③ 5. ② 6. ③ 7. ① 8. ①

IV Grammar Practice1

1. wasn't 2. can get 3. had passed 4. had studied 5. had

V Grammar Practice2

1. A 2. B 3. D 4. C 5. A 6. D

VI Grammar Practice3

1. If you use colloquial English in your school papers, it is not good.
2. If you had not studied with this textbook, your English would not have improved.
3. If you want to reply to Dr. McConnell, please send it to Seibido.

VII Dialogue

maybe because / work together for peace / It's such a great message

スタディガイド 英語 3

(Good Reading, Better Grammar - リーディングで深める英文法)

S0483-3-2

2025/3/1



* S 0 4 8 3 - 3 - 2 *

スタディガイド (学習指導書)

〈英語 3〉 *Good Reading, Better Grammar*

(リーディングで深める英文法)

2022 年 3 月 1 日 第 1 版第 1 刷発行

2025 年 3 月 1 日 第 1 版第 2 刷発行

発行所 法政大学通信教育部

102-8445 東京都千代田区富士見2-17-1

電話 03 (3264) 6557

印刷所 株式会社 エイチ・ユー

102-0073 東京都千代田区九段北3-3-5

法政大学九段北校舎8F

電話 03 (3264) 9569